

基礎デザイン実習B

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	演習	時間数	60	単位	2
担当教員	大山敏弘、永岡真依			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				

授業概要

さまざまな素材を使いながら立体・空間構成力を身につける。立体造形を通じ、デザインにおけるアイディア展開力・素材に関する知識を習得する。身近にある紙や木、スチレンボードといった加工しやすく扱いやすい素材をテーマに様々な視点から作品を創出できる感覚を養う事が目的である。また他の学生の作品を横に見ながら制作する事で完成度のレベル、工夫の仕方等を学んでいく。

到達目標

基本となるデザインで扱う素材（紙・木・スチレンボード等）の工作方法や特性を知る。立体・空間デザインのもととなるアイディア力を養う。多角的にアイディアを観察・創作・評価できる感覚を養う。

授業方法

立体・空間デザインの基本的な知識・技術を習得し、1年後期以降の専門領域での課題にスムーズに移行できる内容とする。立体・空間デザインの面白さ・難しさを体感的に学習することで平面系を含んだデザイン系全般で応用可能な課題を実施する。抽象的課題から具象的内容の課題まで様々な体験を通じ、完成させることの喜びを学ぶ。また、カッターの扱い方等技術的な面も訓練する。

成績評価方法

試験・課題80%提出された課題を総合的に評価する。
平常点20%授業態度によって評価する。

履修上の注意

道具の使い方、素材の扱い方に注意し怪我をしないようにする。制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。

教科書教材

教科書：なし
材料：適宜配布または各自用意

回数	授業計画
第1回	ガイダンススパゲティタワー
第2回	チョークの彫刻①
第3回	チョークの彫刻②

第 4 回	スチレンボード立方体
第 5 回	紙の立体①
第 6 回	紙の立体②
第 7 回	紙の立体③
第 8 回	握りこぶしの彫塑①
第 9 回	握りこぶしの彫塑②
第 10 回	握りこぶしの彫塑③
第 11 回	空間のデザイン①
第 12 回	空間のデザイン②
第 13 回	空間のデザイン③
第 14 回	空間のデザイン④
第 15 回	空間のデザイン⑤